

春の嵐 「爆弾低気圧」 に警戒を!!

冬の寒さと春の暖かさを感じるこの時期、日本付近では冬の冷たい空気と春の暖かい空気がぶつかることで“発達した低気圧”が発生しやすくなります。この“発達した低気圧”は台風並みに暴風をもたらすこともあり「爆弾低気圧」と呼ばれています。

「爆弾低気圧」は、もともと日本付近にある低気圧が急速に発達したものであるため、ある程度の進路予測ができる台風とは違い、突然発生して気付かないうちに暴風域に巻き込まれることがあるため注意が必要です。また、北日本では雪を伴い「暴風雪」となることもあるため、更なる注意が必要となります。

「爆弾低気圧」は突然発生するものですが、**発生の可能性を予測することはできません。**

週間天気予報を見るときには、天気だけではなく、気温の急激な変化も確認すると良いでしょう。

〈防災士 荻野勝也〉

「爆弾低気圧」とは…

定義	『中心気圧が 24 時間でおよそ 24hPa 以上低下する低気圧』 → 気象庁では「爆弾」という言葉がふさわしくないという理由から「急速に発達する低気圧」などと言い換えるように推奨しています。
発生条件	『冷たい空気と暖かい空気の温度差が大きいと爆弾低気圧になりやすい』 → 週間天気予報の最高気温と最低気温の差が大きくなる時に発生しやすくなります。特に 気温差が大きな週に「雨」が予測されている日 は注意が必要です。
災害	『暴風(暴風雪)や高波』 → どちらの災害も台風によるものとは違い広範囲かつ短時間で状況が一変するため、 気付かないうちに巻き込まれる 可能性があります。
防災のポイント	・週間天気予報は 気温差 も見るようにしましょう。 → ・不安に感じたら「 暴風及び高波に関する気象情報(気象庁) 」をチェックしましょう。 ・発生の可能性が高い場合には、山や海などの 屋外レジャーは避け ましょう。